

平成 28 年度 第 7 回理事会議事録

日 時：平成 29 年 1 月 21 日（土）13 時～15 時 30 分

場 所：ホテルセントパレス倉吉 2 階 ウィンザー・サウス

出席者：植嶋、湯田、岡田、木下、原、河上、先灘、国政、野上、那須野、佐々木（崇）、佐々木（豪）、
山岡、下廣 [出席：14/19]

欠席者：片岡、藤原、中井、西村、北野

議 長：植嶋

記 録：先灘

議事録署名人：下廣、那須野

議事

議題 1 平成 29 年度事業計画について

① 学術部年間計画・予算書

- ・ 生理機能検査部門 全 4 回計画予定 225,000 円
- ・ 生物化学分析部門 全 5 回計画予定 30,000 円
- ・ 移植検査部門 全 3 回計画予定 290,000 円
- ・ 形態検査部門 全 4 回計画予定 146,000 円
- ・ 学術部 全 6 回計画予定 740,000 円
日本医学検査学会座長旅費 100,000 円
認知症対応力向上研修会 400,000 円（第 7 回として）
- ・ 感染制御部門 全 5 回計画予定 345,000 円
- ・ 総合管理部門 未提出
- ・ 日臨技研修会助成金が 1 研修会につき 2 万円出るので申請しながらの運用になる
- ・ 愛媛県技師会は災害マニュアル作成し県に提出されている。また人材育成についても活発に活動されているので総合管理部門の研修会として講師をお願いしてはどうか（岡田）
- ・ 鳥臨技ではここ数年技師長会議も行われていない。行っていただきたい。
- ・ R-CPC の研修会は継続して欲しい。信州方式の R-CPC 研修会を取り入れてみてはどうか（湯田）

② 学術委員推薦状況について

- ・ まだ全部の施設から集まっていない。理事で情報共有しながらメールや電話を使ってお願いする。
- ・ 小規模施設は数施設（3～4 施設）纏まって持ち回りで担当してもらう。
- ・ 部門長の決定や事業内容の再確認など一回集まって部会を開かないといけないため、2 月末までにメンバー決定する。

③ 渉外調査部

- ・ 健康展
米子市 平成 29 年 10 月 14 日（土）内容：簡易血糖測定・尿糖検査
鳥取市 平成 29 年 11 月 19 日（日）内容：簡易血糖測定
- ・ 鳥取市糖尿病予防啓発キャンペーン
技師の派遣・・・計 10 回程度の見込み
H28 年度実績：14 回開催（簡易血糖測定・HbA1c）
- ・ 賀詞交歓会
平成 30 年 1 月鳥取市で開催予定
- ・ 全国検査と健康展
平成 29 年度開催予定
ガイナーレ鳥取とコラボ
- ・ 鳥臨技 HP 管理
各施設から若手技師をお願いしたい
部員を学術と同様に集め
- ・ アンケート調査
各施設にアンケートを実施・集計する。
アンケート内容については理事会に諮る。
- ・ その他
若手の合宿を企画してほしい（横のつながりを持つ）
事業として行う スポーツ大会がいいかも
今年度として調査部員を出してください
- ・ 渉外調査部員制度（10 名程度）を作り、鳥臨技 HP 管理や健康展などのスタッフとして技師会に関与してもらおう。役割は調整役とし当日スタッフは別で募集する。
- ・ HP の会員ページはまだ作成できていない（湯田）
- ・ 2016/10/23 に日本海新聞ビルにてガイナーレスポンサーであるバックステージの主催で集客率を上げるための企画が開催され、下広理事、国政理事が参加した。試合会場の出展ブースを取り仕切る方が興味を持たれ、2 月 19 日開催の検査展を見学していただくこととなった。今後、出展することが出来るならアピールの場として活用していく。またこのような企画があれば積極的に参加し技師会の PR に努めていきたい。参加する際は、事前に会長に届け出る（出来れば予算化した方がよい。但し臨時の場合は補正予算で組むこともできる。※要財務との相談）
- ・ Q：健康展の内容が他団体も同じことをしてきており時期的にも被ることが多い今後の方向性をどのようにしたほうがよいか？（下広）
- ・ A：行政目線から見ると技師会のアピールできている。現場での矛盾はあるかと思うがこのまま継続していく。今後は PR の方法も考えていく必要がある。（湯田）

④ 財務部門

- ・ 公益目的支出計画は現在のところ順調に遂行できている。
- ・ 今後の方向性としては、日臨技から補助金をもらって研修会を実施していく。

- ・平成30年に会費を値上げする予定。そのため平成29年に会員に説明を行わないといけない。次回総会で提案し、臨時総会（9月頃）を開催して審議する予定。
- ・値上げする根拠（会費を取らない、近県の状況など）の提示が必要。それを加味した上で金額設定する。参加したくなる魅力的な研修会を開いていく努力が必要。

議題2 鳥取県中部地区地震について

- ・日臨技共済金の申請者5名
- ・募金（義援金）の総額43,366円（12月31日付）
- ・技師会から10,000円/名を罹災証明提出者にお見舞金として出す。義援金については技師会から端数を出して総額50,000円とし10,000円/名を支給する。技師会のお見舞金と合わせて20,000円/名とする。

議題3 日臨技 臨床検査技師のための認知症対応力向上講習会事業について

- ・研修会Bを開催するには研修会Aに参加する必要がある。研修会Aには認定認知症領域臨床検査技師の有資格者であることが条件。
- ・講習会Aは4月7・8日に米子市で開催。鳥取県からは6名の有資格者の内、3名が講習会Aへ参加希望。（澤田（県中）、福田（藤井政雄）、前田（県中））日臨技に3名の参加が可能か打診中。（原則各県1名のため）
- ・鳥臨技としては研修会参加者をサポートしていく。今後、予算を上げておく必要がある。
- ・29年度の計画として認知症の研修会を行うのであれば総合管理部門で計画として挙げておいてはどうか。
- ・講習会Bは講師料200,000円程度、参加者は15名のため10,000円/名として35～40万の予算組をしておく。
- ・日臨技より平成29年度の検査と健康展の中に認知症についてのPRを組み込んでいただきたいとの旨のメールが送られていた。詳細については来週植嶋会長が東京に行くので確認していただく。

議題4 平成29・30年度役員選挙について

- ・定期総会 平成29年6月（日時は未定）
- ・役員候補者名簿告示 平成29年4月中旬から4月末（日時は未定）
- ・2月初旬に役員立候補受付の公示し、2月中旬に締め切る。（公示日から10日後）
- ・役員数が満たない場合は2月19日の理事会で候補者選定の検討を行い、3月の理事会にて名簿を作成できるようにする。
- ・公益社団法人の印鑑しかなかったため、1月30日の週に一般社団法人の印鑑を作成する。
- ・現在、理事が定員18名のところ17名であるため1名の補充可能である。中部地区の理事が1名しかいないため中部から推薦する方向で進める。
- ・選挙管理委員会の役員を理事会で決定しなければならない。今年度中の理事会で決定する（2月または3月理事会にて）

その他

- ・ なし

次回理事会：平成 29 年 2 月 19 日

以上をもって議事を全て終了し、15 時 30 分に閉会した。

この議事が正確であることを証するため、議長および議事録署名人は次に署名、捺印する。

平成 29 年 1 月 21 日

議 長 植嶋 輝久 (印)

監 事 山岡 貴子 (印)

監 事 _____ (印)

議事録署名人 那須野 邦彦 (印)

議事録署名人 下廣 寿 (印)